

News letter



一般社団法人
日本精神保健看護学会
Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing

第88号 | 令和2年
7月8日

(一社)日本精神保健看護学会事務局：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 E-mail:maf-japmhn@mynavi.jp HP:http://www.japmhn.jp

一般社団法人日本精神保健看護学会

第30回学術集会・総会の開催にあたり

学術集會会長 白石裕子
(国際医療福祉大学福岡看護学部)

日本精神保健看護学会第30回学術集会・総会はアクロス福岡での開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、WEB開催となりました。初めての試みであるWEB学会を通して、本学会のテーマである内容をお届けできるよう工夫を重ねております。

オンデマンドで何回でも見られる、見逃す題目がないなどWEB学会ならではのメリットも活かしてプログラムを作成しておりますので、是非皆様方のご参加をお待ちしております。

日本精神保健看護学会第30回学術集会・総会のご案内

大会テーマ：地域移行支援の哲学－政策と実践への具現化 (embodiment)－

学術集會会長：白石 裕子 (国際医療福祉大学福岡看護学部)

日時：2020年8月20日(木)：9時～2020年9月19日(土)：17時

※パスワード付与された方は、1か月間何度でも閲覧が可能です

学術集會会場 URL：https://2020.japmhn.jp/ (現在準備中)

※参加登録をされた方のみ、学術集會が閲覧できます

後援：福岡県、公益社団法人福岡県看護協会、公益社団法人全国精神保健福祉会連
合会、認定特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構、一般社団法人日本精
神科看護協会、一般社団法人日本専門看護師協議会、日本病院・地域精神医
学会、公益社団法人日本精神保健福祉士協会 (日本PSW協会)

<プログラム内容について>

メインプログラム

会長講演

「地域移行支援の哲学 ―政策と実践への具現化 (embodiment)―

演者 白石 裕子 (国際医療福祉大学 福岡看護学部)

座長 松下 年子 (横浜市立大学)

教育講演①

「伴走型支援と問題解決型支援 ―看護はハイブリッドモデルで」

演者 萱間 真美 (聖路加国際大学大学院 看護学研究科 教授)

座長 中山 洋子 (福島県立医科大学名誉教授)

教育講演②

「自尊心回復グループセラピーにみるリカバリー」

演者 國方 弘子 (香川県立保健医療大学)

座長 宮本 有紀 (東京大学大学院)

教育講演③

「『ベネフィット・ファインディング』 ―概念をどのように看護に生かせるか」

演者 千葉 理恵 (神戸大学大学院)

座長 安藤 満代 (第一薬科大学)

教育講演④

「精神看護における認知行動療法を再考する：看護師でもできること、看護師だからできること」

演者 吉永 尚紀 (宮崎大学)

座長 岡田 佳詠 (国際医療福祉大学 成田看護学部)

ランチョンセミナーⅠ ※8月20日(木) 12:10～13:10 ライブ配信にて行います。

「統合失調症治療における世界初経皮吸収型抗精神病薬「ロナセンテープ」の可能性について」

演者 藤田 潔 (桶狭間病院 藤田こころのケアセンター)

坪井 宗二 (桶狭間病院 藤田こころのケアセンター)

座長 松田 光信 (大阪市立大学大学院)

共催：大日本住友製薬株式会社

ランチョンセミナーⅡ

「電磁過敏症って本当にあるの？ ―その1 低周波電磁界―

演者 大久保 千代次 (一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター)

座長 小野寺 俊幸 (一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター)

共催：一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター

ランチョンセミナーⅢ

「認知症の人の精神症状、行動障害をどう見立てて対応するか」

演者 内田 直樹（医療法人すずらん会 たろうクリニック）

座長 喜多 悦子（公益財団法人笹川保健財団）

共催：公益財団法人笹川保健財団

ランチミーティング

「イタリア地域精神保健の哲学と実践」

演者 Luca Gella（ルカ チェッラ）（パルゴラ精神保健センター）

Mario Goffredo（マリオ ゴッフレッド）（元パルゴラ精神保健センター）

座長 白石 裕子（国際医療福祉大学 福岡看護学部）

安保 寛明（山形県立保健医療大学）

通訳 小村 絹恵（一般社団法人イケダ大学代表理事楽食ばんまい & PaneSorriso）

理事会企画

「看護基礎教育指定規則改正 ―地域包括ケアを視野に入れた教育に向けて―」

演者 五十嵐 久美子（厚生労働省医政局看護課 教育体制推進官）

座長 甘佐 京子（滋賀県立大学）

シンポジウムⅠ（誌上発表）

「治療的看護理論と介入技法を用いたリカバリーワーク」

シンポジスト 白石 裕子（国際医療福祉大学 福岡看護学部）

田上 博喜（宮崎大学）

齋藤 嘉宏（西九州大学）

宇佐美 しおり（四天王寺大学）

シンポジウムⅡ（誌上発表）

「当事者と協働し拡大するリカバリーワーク」

シンポジスト 川野 豊（医療法人コミュニテ 風と虹 のぞえ総合心療病院）

徳永 直也（医療法人社団新光会 不知火病院）

池田 耕治（訪問看護ステーション アトラス福岡/多職種アウトリーチチーム ATLAS）

鈴木 映二（東北医科薬科大学）

津野 稔一（NPO 法人 久留米出会いの会 オープンスペースゆるか）

一般演題プログラム

<口演>

1 リエゾン精神看護

O-001 上司のストレス状態が部下に及ぼす影響

○田中 直¹⁾、平井 尚子²⁾

昭和大学横浜市北部病院 看護部 精神看護専門看護師¹⁾、

昭和大学附属烏山病院 看護部 精神看護専門看護師²⁾

2 精神科救急・急性期における看護

0-002 双極性障害の再発予防に関する精神科急性期病棟の看護師の認識

- 森内 加奈恵¹⁾、岡田 佳詠²⁾
 千葉大学医学部附属病院¹⁾、国際医療福祉大学 成田看護学部²⁾

3 精神科リハビリテーション看護

0-003 統合失調症者のリカバリーの構成要素の検討 —フォーカスグループインタビューを用いて—

- 佐藤 佑香^{1,2)}、菅谷 智一³⁾、森 千鶴³⁾
 筑波大学大学院 人間総合科学研究科看護科学専攻¹⁾、
 茨城県立こころの医療センター²⁾、筑波大学 医学医療系³⁾

4 地域生活支援

0-004 精神科訪問看護における意思決定支援に関する課題 —精神科訪問看護師の語りから—

- 西口 典子^{1,3)}、寶田 穂²⁾、心光 世津子¹⁾
 武庫川女子大学大学院 看護学研究科 修士課程¹⁾、
 武庫川女子大学 看護学部 看護学科²⁾、
 一般財団法人仁明会 訪問看護ステーションはんず³⁾

0-005 精神障害者が高齢者入所施設で受けるケアへの課題 —入所者の語りを通して—

- 鷲 忍¹⁾、寶田 穂²⁾、和泉 京子²⁾
 武庫川女子大学大学院 看護学研究科 博士後期課程¹⁾、
 武庫川女子大学 看護学部 看護学科²⁾

0-006 地域生活促進を目的としたケア困難患者に対するセルフケア看護介入とその評価

- 宇佐美 しおり¹⁾、遠藤 恵美²⁾、川田 陽子³⁾、松橋 美奈⁴⁾、竹原 歩⁵⁾、宮崎 志保³⁾、石飛 マリコ⁶⁾
 四天王寺大学 看護学部 看護実践開発研究センター¹⁾、
 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部 地域連携室²⁾、
 四天王寺大学 看護学部³⁾、東京慈恵会医科大学第三病院⁴⁾、
 兵庫県立姫路循環器病センター 看護部⁵⁾、日本赤十字九州国際看護大学⁶⁾

6 家族支援

0-007 子どもを叩いてしまう母親にとっての育児友達の存在

- 片山 美穂、北岡 和代、相上 律子
 公立小松大学 保健医療学部 看護学科

0-008 在宅での看取りを決めた家族の意思決定した要因および介護における有益性と困難感の認識

- 安藤 満代¹⁾、山本 真弓²⁾
 第一薬科大学 看護学部¹⁾、国際医療福祉大学 福岡看護学部²⁾

7 患者—看護師関係

O-009 持効性注射製剤投与中の統合失調症長期入院患者に対する看護と意思決定支援

○栗原 優里奈、松下 年子

横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻 博士前期課程 精神看護学分野

O-010 他者との交流が乏しい患者たち —精神科地域移行病棟におけるフィールドワークから—

○今住 誉子

株式会社円グループ 訪問看護ステーション卵

O-011 精神科病棟における看護師が行う「声かけ」に関する研究

○西田 祐紀、中井 理賀、片岡 三佳

三重大学大学院 医学系研究科 看護学専攻

O-012 精神保健看護学領域における「甘え」の文献検討

○細谷 陽、榎 恵子

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科

8 連携・チーム医療

O-013 地域母子保健における精神保健看護の役割 —特定妊婦に支援を行う訪問指導員へのインタビューから—

○市川 久美子¹⁾、大谷 利恵¹⁾、高橋 秋絵¹⁾、植田 奈津実²⁾、玉木 敦子¹⁾

神戸女子大学 看護学部¹⁾、神戸女子大学大学院看護学研究科²⁾

9 さまざまなアプローチ

O-014 精神疾患を有する人を対象としたベネフィット・ファインディング促進プログラムによる心理的变化：質的分析

○千葉 理恵¹⁾、船越 明子²⁾、宮本 有紀³⁾

神戸大学大学院 保健学研究科 看護学領域¹⁾、神戸市看護大学²⁾、

東京大学大学院 医学系研究科 精神看護学分野³⁾

O-015 犬を用いた動物介在療法による患者のストレス緩和効果に関する研究

○龍 由季乃¹⁾、太田 光明²⁾

東京農業大学大学院 農学研究科 バイオセラピー専攻 研究生¹⁾

麻布大学 名誉教授²⁾

O-016 市町村保健師が働き続けるための課題 —20年以上の経験を有する保健師の語りから—

○川口 真由美^{1,2)}、竇田 穂³⁾、心光 世津子¹⁾

武庫川女子大学 看護学研究科¹⁾、高石市保健福祉部地域包括ケア推進課²⁾

武庫川女子大学 看護学部 看護学科³⁾

0-017 精神科病棟看護師の統合失調症患者へのケアの困難とその対処

○長野 真澄
訪問看護ステーション Reaf くまもと

0-018 訪問看護師の介入により救急搬送リピーター患者を精神科治療へつないだ一例

○座光寺 佑樹
京都橘大学大学院 看護学研究科

10 看護教育・看護管理

0-019 2つの精神科病棟における入院患者の自殺をめぐる体験 ―看護師の体験とチームの状況に注目して―

○上山 千恵子
関西医科大学 看護学部

0-020 看護職員のワークエンゲイジメントと看護師長のリーダーシップの類型との関係

○高谷 新¹⁾、安保 寛明¹⁾、佐藤 大輔²⁾
山形県立保健医療大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、
社会医療法人二本松会山形さくら町病院²⁾

0-021 慢性期閉鎖病棟における患者から看護スタッフへの暴力防止の取り組みの評価

○寺内 康人¹⁾、矢山 壮²⁾、的場 圭³⁾、塩谷 良太¹⁾
公益財団法人 浅香山病院¹⁾、関西医科大学 看護学部 看護学科²⁾、
関西医科大学 看護学部 精神看護学領域³⁾

0-022 看護基礎教育における SBIRTS を取り入れた授業の試み

○松下 年子¹⁾、江藤 和子²⁾、辻脇 邦彦³⁾、片山 典子⁴⁾、荒木 とも子⁵⁾、内野 小百合⁶⁾、
田辺 有理子¹⁾、寺戸 聡子^{2,6)}、桐生 敏行⁷⁾
横浜市立大学医学研究科看護学専攻・医学部看護学科¹⁾、
横浜創英大学看護学部²⁾、
東都大学ヒューマンケア学部看護学科³⁾、
湘南医療大学大学院保健医療学研究科・保健医療学部看護学科⁴⁾、
東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科・看護学科⁵⁾、
防衛医科大学校医学教育部看護学科⁶⁾、横浜市立大学医学部看護学科⁷⁾

0-023 精神科患者をケアしたときに生じる看護師の体験 ～初めて精神科患者を目の当たりにして～

○吉田 裕香、菊池 美智子
特定医療法人 八誠会 もりやま総合心療病院

0-024 精神看護学実習における看護学生の自己洞察と自己活用の内容の検討

○石橋 昭子¹⁾、齋藤 嘉宏²⁾、猪狩 明日香¹⁾、森 雄太³⁾、白石 裕子¹⁾
国際医療福祉大学 福岡看護学部 看護学科¹⁾、西九州大学 看護学部²⁾、
帝京大学 福岡医療技術学部³⁾

O-025 大学生のインターネット依存傾向と精神的健康に焦点を当てたシステマティックレビュー

○大胡 晴香¹⁾、片山 典子²⁾

湘南医療大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、

湘南医療大学大学院 保健医療学研究科・保健医療学部 看護学科²⁾

O-026 精神看護学シミュレーション教育において、単元「当事者への問診」を取り入れたことによる教育評価

○守村 洋、伊東 健太郎

札幌市立大学 看護学部

O-027 精神看護学シミュレーション 教育における模擬患者養成の検討 ～気分障害・自殺念慮の講義聴講を通して～

○伊東 健太郎、守村 洋

札幌市立大学 看護学部

11 その他

O-028 児童精神科病棟における入院患者の違いによるゲーム機使用の特徴

○岡田 清明¹⁾、高久 正博¹⁾、竹下 智子¹⁾、菅谷 智一²⁾、森 千鶴²⁾

茨城県立こころの医療センター¹⁾、筑波大学医学医療系²⁾

O-029 成人1型糖尿病患者における心理・環境的側面に焦点化したシステマティックレビュー

○陶山 克洋¹⁾、片山 典子^{1,2)}

湘南医療大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、

湘南医療大学大学院 保健医療学研究科²⁾

O-030 看護学生の睡眠および睡眠衛生行動の実態と日常ストレス、精神的健康との関連

○松本 奈央¹⁾、野末 聖香²⁾、福田 紀子²⁾

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科¹⁾、

慶應義塾大学 看護医療学部²⁾

< 示説 >

1 リエゾン精神看護

P-001 多職種による意思決定支援へのリエゾンナースの調整プロセス —せん妄を呈した若年胃がん患者の一例—

○中井 有里¹⁾、新田 佑輔²⁾、橋本 玲子²⁾

金沢医科大学病院 看護部管理室¹⁾、金沢医科大学 精神神経科学²⁾

P-002 三次救急の場における看護師の自殺未遂患者に対する態度形成の影響要因に関する質的研究

○瓜崎 貴雄

大阪医科大学 看護学部 看護学科

P-003 臨床で暴力被害を受けた看護師の体験

○大西 智香
倉敷中央病院

3 精神科リハビリテーション看護

P-004 タイにおける薬物依存症離脱治療プログラムの状況と展望

○荒井 春生
京都光華女子大学 健康科学部 看護学科

P-005 精神科看護師のリカバリー志向性と倫理的行動の関連

○福嶋 美貴
豊橋創造大学保健医療学部看護学科

P-006 地域で生活する統合失調症当事者に看護師が行う認知行動療法に関する文献レビュー

○谷 多江子¹⁾、白石 裕子²⁾
聖マリア学院大学 看護学部¹⁾、国際医療福祉大学 福岡看護学部²⁾

4 地域生活支援

P-007 精神科訪問看護利用者の生活習慣病予防に向けて共同意思決定を推進するプロセス

○松本 陽子、木村 幸生
日本赤十字広島看護大学

P-008 地域における「本当の支援」とは —ACT 実践の現象学的研究—

○近田 真美子^{1,2)}
福井医療大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、大阪大学大学院博士後期課程²⁾

P-009 身体疾患のある在宅療養者に対する一般訪問看護師の自殺関連事案の実態（第一報）

○千々岩 友子、出口 睦雄、石村 佳代子
一宮研伸大学 看護学部

P-010 精神障害者に対する訪問看護師のレスパイト入院の見極めとその介入

○岩崎 優子、山崎 不二子
福岡女学院看護大学

P-011 措置入院患者への退院後支援に関する文献検討

○川村 道子、木添 茂子
宮崎県立看護大学 看護学部

- P-012 沖縄県における精神保健福祉ボランティアの現状と課題 —ボランティア支援事業者へのインタビュー調査から—
○鬼頭 和子、鈴木 啓子
名桜大学 人間健康学部 看護学科
- P-013 覚せい剤を使用したことのある精神障がい者が社会生活を営む中で心がけていること
○梶川 拓馬、戸田 一男
明治国際医療大学 看護学部 看護学科
- P-014 沖縄県における精神保健福祉ボランティアの実態調査 —精神科病院および地域への質問紙調査から—
○鈴木 啓子、鬼頭 和子
名桜大学 人間健康学部 看護学科
- P-015 地域で生活する統合失調症患者の自己効力感に影響を及ぼす要因
○中村 博文¹⁾、渡辺 尚子²⁾
茨城県立医療大学 保健医療学部看護学科¹⁾、
東邦大学 健康科学部看護学科²⁾
- P-016 身体疾患をあわせもつ精神疾患患者への訪問看護サービスの実態調査
○荻野 夏子、吉川 隆博
東海大学 医学部 看護学科
- P-017 地域で生活する統合失調症患者へのコンコーダンス・スキルを用いた支援の検討
○地神 由加里^{1,2)}
特定非営利活動法人 相双に新しい精神科医療保険福祉システムをつくる会¹⁾
訪問看護ステーションなごみ²⁾
- P-018 GIS を用いた石川県の精神科訪問看護におけるサービス提供エリアの分布実態と訪問ルートに関する検討
○長山 豊、中井 寿雄
金沢医科大学 看護学部
- P-019 薬物使用障害を有する女性の支援に関する文献検討
○十倉 絵美、川村 晃右、小西 奈美、松本 賢哉
京都橘大学 看護学部 看護学科
- P-020 地域で生活する境界性パーソナリティ障害患者のセルフケア能力の向上にむけた精神科訪問看護師の支援
○安保 淳子
福島県立医科大学付属病院 心身医療科病棟
- P-021 重度の統合失調症患者の地域生活維持に向けた訪問看護師の支援
○藤井 美佐恵
福島県立医科大学 大学院看護学研究科 精神看護学領域

5 ヘルスプロモーション

P-022 レズビアン・バイセクシュアル女性の自殺およびそれに影響を与える因子について

○早川 麻耶

横浜市立大学 医学研究科 精神医学教室

P-023 看護職者によるアルコール問題を抱える対象者への予防介入実践 ～他国の現状～

○内野 小百合¹⁾、千葉 靖子¹⁾、坪井 美恵子¹⁾、松下 年子^{2,3)}

防衛医科大学校 医学教育部 看護学科¹⁾、

横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻²⁾、

横浜市立大学 医学部 看護学科³⁾

P-024 青年期のメンタルヘルスリテラシーに関する研究の動向と教育実践の課題

○阿保 真由美

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科

P-025 依存症を抱える女性の回復を支援する学習会参加者のニーズ

○小西 奈美、十倉 絵美

京都橘大学看護学部看護学科

6 家族支援

P-026 重度の統合失調症の母親と同居する子どもとその家族への訪問看護

○澤井 詩織

社会福祉法人南高愛隣会訪問看護ステーションきらり

7 患者—看護師関係

P-027 患者—看護師関係における精神科看護師の感情の特徴

○工藤 あずさ^{1,2)}、菅谷 智一³⁾、森 千鶴³⁾

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群¹⁾、

筑波大学附属病院²⁾、

筑波大学 医学医療系³⁾

P-028 精神科看護師が Wellness Recovery Action Plan を意識した生活をするることによる看護とメンタルヘルスの変化

○矢山 壮¹⁾、藤田 茂治²⁾、安保 寛明³⁾

関西医科大学 看護学部¹⁾、訪問看護ステーションりすたーと²⁾、

山形県立保健医療大学 看護学科³⁾

P-029 文献検討による精神科看護師の「待つ」ことに関する一考察

○蔵本 綾¹⁾、渡邊 久美¹⁾、長尾 みゆき²⁾
香川大学 医学部 看護学科¹⁾、香川大学医学部附属病院²⁾

P-030 ト라우マにより生きにくさを抱えた方を地域で支援する精神科訪問看護師の体験

○加藤 隆子¹⁾、渡辺 純一²⁾、渡辺 尚子³⁾、齋藤 直美⁴⁾
千葉県立保健医療大学 健康科学部 看護学科¹⁾、
公益財団法人 井之頭病院²⁾、
東邦大学 健康科学部 看護学科³⁾、医療法人社団 翠会 成増厚生病院⁴⁾

P-031 長期入院精神障害者の地域移行支援が停滞するときの構造的特徴

○村上 満子
公立大学法人 名桜大学 人間健康学部 看護学科

P-032 精神科看護師における患者との距離の持ち方の工夫に関する意識：テキストマイニングを用いた分析

○河村 奈美子¹⁾、町田 佳世子²⁾、岩本 祐一³⁾
滋賀医科大学 医学部 看護学科¹⁾、札幌市立大学 デザイン学部²⁾、
大分大学 医学部 看護学科³⁾

P-033 「患者カルテ」からダイアログ実践へ ―精神科看護の新たな方法論

○坪之内 千鶴¹⁾、木下 由利子²⁾、小田 佳子²⁾、古澤 亜矢子³⁾、野村 直樹⁴⁾
日本赤十字豊田看護大学¹⁾、藤田医科大学病院²⁾、
日本福祉大学 看護学部 看護学科³⁾、名古屋市立大学大学院人間文化研究科⁴⁾

8 連携・チーム医療

P-034 病棟看護師による退院支援の課題に関する文献検討

○猪狩 明日香¹⁾、齋藤 嘉宏²⁾、森 雄太³⁾
国際医療福祉大学 福岡看護学部¹⁾、西九州大学 看護学部²⁾、
帝京大学 福岡医療技術学部³⁾

P-035 精神科看護師による退院支援実践自己評価と関連要因（全国調査）

○足立 円香^{1,2)}、渡井 いずみ³⁾
岐阜県立看護大学 看護学部 地域基礎看護学領域¹⁾、
名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程²⁾、
浜松医科大学 医学部 看護学科³⁾

9 さまざまなアプローチ

P-037 強迫性障害への認知行動療法の効果 ～国内文献検討～

○川津 拓也¹⁾、成清 応任²⁾、齋藤 嘉宏³⁾
九州大学病院¹⁾、不知火病院²⁾、西九州大学 看護学部³⁾

P-038 アルコール依存症回復者の社会的支えとネットワーキング —コンボイモデルを活用して—

- 野本 真理映¹⁾、澤田 いずみ²⁾、塚本 美奈²⁾
 千葉科学大学 看護学部 看護学科¹⁾、
 札幌医科大学 大学院保健医療学研究科²⁾

P-039 入院中の統合失調症患者への思春期・青年期版アンガーコントロールトレーニングによる介入経過

- 野津 春枝^{1,2)}、安保 寛明³⁾
 医療法人菅野愛生会緑ヶ丘病院¹⁾、山形県立保健医療大学（客員研究員）²⁾、
 山形県立保健医療大学 看護学科³⁾

P-040 若年の神経性やせ症をもつ人への看護の検討 ～身体への態度の変化と感情を一連で理解する患者理解の必要性～

- 井上 さや子、畦地 博子
 高知県立大学 看護学部

P-041 うつ病・全般性不安症併存患者に価値観の変容がみられた認知行動療法についての一考察

- 長井 麻希江、石橋 佐枝子
 敦賀市立看護大学

10 看護教育・看護管理

P-042 看護教育におけるポジティブマネジメントの具体的方法に関する文献レビュー

- 中村 和子¹⁾、菊地 美鈴²⁾、橋詰 広嗣³⁾
 関西福祉大学 博士後期課程、近畿大学附属看護専門学校 看護学科²⁾、
 姫路大学 看護学部 看護学科³⁾

P-043 精神看護学実習における精神科デイケア実習の学習効果 —学生レポートの分析—

- 夫 博美、小坂 やす子
 大阪信愛学院短期大学 看護学科

P-044 発達障害のある看護学生に対する支援の充実に向けた課題：教員が捉える教育上の困難と支援との関連性に基づく検討

- 川村 晃右、十倉 絵美
 京都橘大学 看護学部 看護学科

P-045 セルフ・コンパッションによる精神面への効果 ～文献検討～

- 成清 応任¹⁾、川津 拓也²⁾、齋藤 嘉宏³⁾
 不知火病院¹⁾、九州大学病院²⁾、西九州大学 看護学部³⁾

P-046 重い精神障害をもつ人を支援する精神科訪問看護のための教育プログラムの作成と評価

- 天野 敏江、岡田 佳詠
 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

P-047 精神科看護管理者のリハビリ志向の概念分析 ―中間報告―

○松井 陽子¹⁾、片岡 三佳²⁾

朝日大学 保健医療学部看護学科¹⁾、三重大学大学院医学系研究科²⁾

P-048 児童・思春期精神科看護における子どものこころのケア実践と医療ミス

○船越 明子¹⁾、土谷 朋子²⁾、宮本 有紀³⁾、大橋 冴理⁴⁾

神戸市看護大学 看護学部¹⁾、文京学院大学 保健医療技術学部²⁾、
東京大学大学院 医学系研究科³⁾、訪問看護ステーション アユース⁴⁾

P-049 海外におけるアディクション看護教育の文献検討

○坪井 美恵子¹⁾、内野 小百合¹⁾、千葉 靖子¹⁾、荒木 とも子²⁾

防衛医科大学校 医学教育部 看護学科¹⁾、
東北文化学園大学 医療福祉学部 看護学科²⁾

P-050 WRAP の一部を体験した看護学生の学び

○八谷 美絵¹⁾、谷 多江子¹⁾、安藤 満代²⁾

聖マリア学院大学 看護学部¹⁾、第一薬科大学 看護学部²⁾

P-051 A 大学看護学生が捉える精神看護学実習における認知行動療法を用いた介入の効果

○齋藤 嘉宏¹⁾、石橋 昭子²⁾、猪狩 明日香²⁾、森 雄太³⁾、白石 裕子²⁾

西九州大学 看護学部¹⁾、国際医療福祉大学 福岡看護学部²⁾、
帝京大学 福岡医療技術学部³⁾

P-052 精神看護学実習で看護教員が対応に困難を感じる学生の特徴と学生への支援方法に関連する文献レビュー

○永住 沙樹¹⁾、郷良 淳子²⁾

鈴鹿医療科学大学大学院 医療科学研究科 看護学分野¹⁾、
鈴鹿医療科学大学看護学部 精神看護学²⁾

P-053 精神看護学実習で実習指導者が捉えた受け持ち患者の反応とケアへの活用の現状

○荒木 清吾¹⁾、多喜田 恵子²⁾

医療法人香流会 紘仁病院¹⁾、岐阜保健大学 看護学部²⁾

P-054 臨地実習における看護学生の社会的スキルと対人ストレスコーピングと学業的援助要請の関連

○浦川 陽子¹⁾、香月 富士日²⁾

豊田地域専門学校¹⁾、名古屋市立大学大学院看護学研究科²⁾

P-055 精神看護学実習におけるシャドーイングを通して学生が学んだこと ―看護学生の学びのレポートより―

○高田 昭、一ノ瀬 まきの

東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科

P-056 精神看護学実習における精神保健福祉士による講義の効果 ―学生の実習記録の分析―

○一ノ瀬 まきの、高田 昭

東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科

P-057 精神科病棟看護師のリハビリ志向を高める研修プログラムの効果

- 田村 達弥¹⁾、明間 正人²⁾、渡邊 照子³⁾、大川 貴子¹⁾
福島県立医科大学看護学部¹⁾、医療法人昨雲会飯塚病院²⁾、
訪問看護ステーションこころのあい³⁾

P-058 精神科薬物療法を受ける患者への看護に関する看護師教育の現状

- 葛島 慎吾、川村 道子
宮崎県立看護大学 看護学部 看護学科

P-059 精神障がい者が地域の事業所で看護実習生と関わる経験

- 福田 紀子¹⁾、緑川 綾²⁾、西池 絵衣子³⁾、野末 聖香¹⁾
慶應義塾大学看護医療学部¹⁾、東京慈恵会医科大学大学院²⁾、
兵庫県立大学看護学部³⁾

P-060 精神分野における地域包括ケアに従事する看護師の対話を重視した教育の方法と検証 —第1報—

- 西池 絵衣子¹⁾、末安 民生²⁾
兵庫県立大学看護学部¹⁾、岩手医科大学看護学部²⁾

11 その他

P-061 当事者研究が看護師の臨床実践に及ぼす影響 ～レジリエンスの視点から～

- 山根 詩織
江別すずらん病院

P-062 精神科看護師の倫理的感受性と看護援助との関連について

- 木下 愛未、下里 誠二
信州大学 学術研究院 保健学系

P-063 A病棟における自殺リスクアセスメントシートの評価における医師と看護師の差異についての一考察

- 浜谷 咲子¹⁾、浅野 睦美¹⁾、吉田 沙織¹⁾、賀古 千亜紀¹⁾、叶野 るみ子¹⁾、澤田 いずみ²⁾
札幌医科大学附属病院 北4階病棟¹⁾、
札幌医科大学 保健医療学部 看護学第三講座²⁾

P-064 統合失調症患者の再手術後に看護師が工夫した周術期ケア

- 石井 歩
聖路加国際大学大学院 看護学研究科

P-065 GISを用いた地域の発達障がい児数バランスを考慮した避難圏域分割シミュレーション

- 中井 寿雄¹⁾、長山 豊¹⁾、中井 有里²⁾
金沢医科大学看護学部¹⁾、金沢医科大学病院²⁾

- P-066 精神療養病棟における患者の意思を尊重した地域移行支援 —支援の方策を用いた看護実践—
○高橋 未来
岐阜県立看護大学 看護学部 地域基礎看護学領域
- P-067 精神科に勤務する男性看護師の職業に対するキャリア意識、困難感、やりがいに関する研究
○森 雄太¹⁾、齋藤 嘉宏²⁾、猪狩 明日香³⁾
帝京大学 福岡医療技術学部¹⁾、西九州大学 看護学部²⁾、
国際医療福祉大学 福岡看護学部³⁾
- P-068 大学生のインターネット使用頻度とインターネット依存・ひきこもり親和性・孤独感の関連
○玉田 聡史¹⁾、片山 典子²⁾
湘南医療大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、
湘南医療大学大学院 保健医療学研究科・保健医療学部 看護学科²⁾
- P-069 統合失調症者に対する自律神経活動についての研究動向 —国内研究を中心に—
○別宮 直子
人間環境大学 松山看護学部 看護学科
- P-070 うつ病患者の役割受容と自我同一性の関連：臨床看護の観点からの考察
○山下 真範
久留米大学病院 精神神経科病棟
- P-071 地域で生活する障がい者の防災に関する意識と支援の検討
○石橋 佐枝子¹⁾、永井 邦芳²⁾
敦賀市立看護大学¹⁾、名古屋学芸大学 看護学部²⁾
- P-072 自傷行為に対する看護学生の認識 ～看護学科4年生へのアンケート調査より～
○蓮池 光人¹⁾、神田 歩夢²⁾
森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科¹⁾、社会医療法人平和会 吉田病院²⁾
- P-073 患者と援助者ともに快感情となる状況 —精神科レクリエーションの模擬場面での感情分析と質問紙調査から—
○塚本 美奈¹⁾、宮島 直子²⁾
札幌医科大学 保健医療学部 看護学科¹⁾、
北海道大学 大学院保健科学研究院²⁾

(一社) 日本精神保健看護学会第4期代議員選挙公示

(一社)日本精神保健看護学会第4期代議員選挙を定款第5条および代議員・役員選出に関する規程に基づき、下記の通り実施いたします。第4期代議員選出の投票については、2020年9月30日時点で連絡先として学会に登録している正会員の連絡先(郵送先住所及びメールアドレス)に2020年12月上旬に学会事務局から郵送及びメールにてご連絡いたします。

なお、本年度よりオンライン投票となりますので、指定の期日までにマイページ(学会員専用画面)より投票をしてください。

1. 選挙人および被選挙人

- 1) 選挙人は、選挙人名簿作成日(2020年9月30日)現在、2019年度までの会費を納入した正会員であるものとします。
- 2) 被選挙人は、選挙人名簿作成日(2020年9月30日)現在、2019年度までの会費を納入しており、かつ、入会年度を含め、3年間以上にわたり正会員であり、代議員を連続して3期にならないものとします。

2. 選挙の実施および方法

- 1) 代議員の選挙は、所属地区別に行います(なお、所属地区は入会申込書で連絡先として指定している住所によって区分されています)。
- 2) 地区は、【北海道・東北】【東京を除く関東】【東京】【甲信越・北陸・東海】【近畿】【中国・四国・九州・沖縄・その他】の6地区とします。

3) 投票方法

12月上旬に会員マイページ上に開設する代議員選挙投票ページより投票をお願いいたします。マイページへのアクセスは、会員番号とパスワードが必要になります。

※会員番号は5から始まる10桁の数字です。

操作方法でご不明な点がございましたら、学会事務局までご連絡ください。

(一社)日本精神保健看護学会 事務局 E-MAIL: maf-japmhn@mynavi.jp

- 4) 投票締め切り 2021年1月15日(金) 12:00

3. 当選人について

- 1) 選挙において有効投票を多数得た者から順に当選人とします。
- 2) 同数の有効投票数を得た者については、会員歴の長い者を当選人とします。会員歴が同年の場合は、抽選により当選人を決定します。
- 3) 当選人が定まったときは、委員会は当選人に当選の旨を通知し、その承諾を得ます。
- 4) 当選人が辞退したときは、次点の者から順に繰り上げて当選人とし、その承諾を得ます。
- 5) 当選人については、代議員・役員選出に関する規程第11条6項に基づき、理事長が総会に報告し、学会誌およびインターネットのウェブサイトに掲載いたします。

日本精神保健看護学会 選挙管理委員会
委員長 江波戸和子
委員 石井歩、岡京子、渡辺純一

理事会報告

総務委員会 岡本典子
(常葉大学)

1月4日、3月14日、5月24日に理事会を開催しました。COVID-19の影響のため、3月は書面決議、5月はZoomによる遠隔会議を行いました。様々な影響が出ていますが、学会としての機能を維持し、社会に貢献できるよう進めていきたいと思っております。

■ 2020年度 第1回代議員会 書面決議のお知らせ

第30回学術集会・総会が8月にWEB開催されることをふまえ、2020年度第1回代議員会は定款第23条に規定された書面による決議と致します。代議員の皆様には、7月頃に書面決議にかかる資料を学会マイページに登録されたメールアドレス宛に送付致します。

■ 2020年度 総会について

代議員会の審議事項を常設のHP上で共有し、会員の皆様から意見を頂くための窓口を設けます。

■ 会費納入について

2020年度年会費の請求が遅れており、申し訳ありません。お手元に届きましたら、お支払いの手続きをお願いいたします。なお、退会をご希望の場合は、当該年次の会費をお支払い頂いた上で、マイページより退会届を送信下さいますようお願い致します。

■ マイページへの登録・登録情報の更新のお願い

本学会の活動、他学会・団体からの情報などをメールにて発信しております。ぜひ、マイページにメールアドレスをご登録ください。また所属が変わられた方など、登録内容に変更が生じた場合には、更新をして下さいますようよろしくお願い致します。毎年、宛先不明のために請求書をお送りできない方が、数十名いらっしゃいます。2年間納入がない場合には、自動退会となってしまいます。ご注意ください。

■ 学会事務局移転のお知らせ

2020年4月1日より学会事務局・編集事務局が移転しました。

入会・退会・住所変更のご連絡やお問合せは下記(株)毎日学術フォーラム内の新学会事務局までお願いいたします。

【新学会事務局】

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F

(株)毎日学術フォーラム内

一般社団法人日本精神保健看護学会事務局

TEL : 03-6267-4550 Fax : 03-6267-4555

E-MAIL: maf-japmhn@mynavi.jp

新型コロナウイルス感染症に関する情報について

(一社)日本精神保健看護学会第4期理事長 菅 問 真 美
(聖路加国際大学大学院 看護学研究科)

この度のCOVID-19蔓延に際して亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。様々な医療の場で、不確実な状況の中でケアの提供を続けておられるスタッフの皆様に、心から感謝と敬意を表します。事態が長期化するにつれ、医療の場でも、教育の場でも、心のケアが必要な状況が顕在化しつつあります。

COVID-19の世界的流行に対して、感染症対策に従事する人や組織の負担を軽減するには、組織内の資源に全てを委ねなくて済むような社会的ネットワークの構築が必要です。WHOなどの国際機関でも、遠隔的方法での医療者への心理社会的支援の必要性に言及しています。

そこで、本学会では、遠隔による支援者支援という観点から相談支援ガイドラインを作成しました。そこで、本学会では、遠隔による支援者支援という観点から、上記のような人々を対象とした相談支援ガイドラインを作成し、公開いたしました。このガイドラインの利用者として想定・推奨するのは、保健医療職者の支援に従事する保健医療職の背景を持つ人です。ぜひ、会員だけでなく非会員の方もご活用ください。

また、心のケアに役立つ資源を皆様にご紹介し、活用いただきたく、学会や組織が提供している資料を収集いたしました。日本語の要約も付けましたのでご活用ください。

URL : <https://www.japmhn.jp/covid-19>

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神保健看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神保健看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報・情報委員会で検討させていただきます。ニュースレターに掲載したいと考えています。皆様からのご連絡をお待ちしております。

*News
letter*

編集後記

- ▼ 2020年の上半期は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日常が様変わりする中、過ぎ去っていきました。当初、今号の発行予定を4月末としていましたが、作業の遅れに伴い、2か月以上遅れての発行となりました。今後の見通しも不透明な状況にありますが、そのことを踏まえつつ、次号の計画を立てたいと思っています。
- ▼ Facebook や Twitter などの SNS でも情報発信しています。ぜひチェックしてください。

広報・情報委員会 委員長：寺岡征太郎（和洋女子大学）

委員：神澤尚利（東京医科大学） 小山達也（東京女子医科大学）

中戸川早苗（北里大学） 河野有美子（和洋女子大学）

（お問い合わせ先）メールアドレス：japmhn.pr@gmail.com



JAPMHN